

(26日)を前に、県議選田川郡区に立候補し落選した有田浩二

法な選挙チラシの配布や、票の買収に関する話が飛び交う。有田容疑者の事件は「氷山の一角」といえる。

民主主義の根幹を揺るがす違法行為の根底には、それを許し、甘んじて受ける有権者の体質がある。県外から移り住んだ飲

る。田川署は「票の買収を持ちかけられたら、きっぱり断り、警察に通報してほしい。選挙違反は厳正に対処する」と呼び掛

る前に有田容疑者の逮捕に踏み切った背景には、目に余る選挙違反に対する警告が込められていると感じる。さらに厳しい取り締まりを切に願う。

豊筑 '15 考

ゆがんだ選挙を許すな

買収を断ったという市民から、西日本新聞に「こんなのは選挙とは言えない。法律を守れない人たちにまともな政治がで

ける。

21日に有田容疑者の陣営の運動員2人が同じ容疑で逮捕され

来を良くするための選挙を私利私欲でねじ曲げ、汚すことは断じて許されない。

容疑者(55)が公選法違反で逮捕されたが、田川市郡ではほかに

「書いてほしい」と悲鳴にも似た

食店の女性は「この選挙は昔から派手。初めはびっくりした。(有権者に)3万円ずつぼんぼん渡すんよ」と語り、タクシー

の選挙に影響する」と有田陣営の運動員であることを伏せて発

か」と指摘する。迷いながら有田容疑者に投票したという町民男性(44)は「地元候補者ということでも一票を入れたのに残念。ただ、

「また川崎」怒る町民

選挙の浄化求める声

「また川崎で」。県議選田川郡区に立候補した川崎町の元町議、有田浩二容疑者

んな時に逮捕されるとは。町の信頼回復はさらに

(55)が23日、公選法違反容疑(買収約束、事前運動)で逮捕された。昨年、汚職事件

難しくなったが、絶対にはやらないといけない。投票行動に結びつくようにちゃん

で町長と町議が起訴された川崎町。今は町の再生を目指す町長選と町議選(いずれも

別の現職候補は「町内では選挙違反が常態化している。有田容疑者には罪の意

26日投開票)のさなかだ。町の信頼をさらに失墜させる事件に、町民から「いつまで

識がなかったのではない

不祥事が続くのか」と怒りの声が相次いだ。

る。有田容疑者は逮捕された運動員の「顔と名前は知っている」とした上で、2人に買収や事前運動を指示した事実は「ない」と話していた。

逮捕者疑有の選落議県

有田容疑者は2003年の推薦を受けて県議選田川

から3回連続で町議に当選。議会運営委員長などを務めたが1月30日付で町議を辞職し、自民党地域支部

の現職候補は、取材に「こ

に有田容疑者は逮捕された運動員の「顔と名前は知っている」とした上で、2人に買収や事前運動を指示した事実は「ない」と話していた。



権者に有田浩二容疑者

有田容疑者 関与を否定

本紙取材

公選法違反容疑で逮捕された有田浩二容疑者は、自身の陣営の運動員2人が同じ容疑で逮捕された後、西日本新聞の取材に「自分は関

町民男性(73)は「町を良くする立場の人々が法律を守らないのは情けない。選挙そのものを浄化しないと、この町はいつまでたっても良くならない」と語った。(中川博之、諏訪部真)